

## 議事録

審議会等名	つくばみらい市下水道審議会
開催日	令和5年12月6日(水曜日)
開催場所	つくばみらい市役所谷和原庁舎 第2会議室
出席者	出席委員 大澤義明、間根山知己、鈴木恵子、野村俊光、稲葉純子、木田裕通、秋田政夫、直井良一、片見礼子、秋田富郎、百山躬行 欠席委員 文随靖 市出席者 小田川市長、飯泉都市建設部長、小林上下水道課長、湯原課長補佐、大澤課長補佐、中村係長、諏訪主事 下水道使用料検討・経営戦略改定業務受託者 日本会計コンサルティング株式会社
議事	報告1 令和4年度下水道事業会計決算について 報告2 下水道使用料検討・経営戦略改定業務について
議案概要	<p>1 開会 午後2時00分</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 諮問書提出</p> <p>5 議事</p> <p>(1) 令和4年度下水道事業会計決算について</p> <p>・事務局より、令和4年度下水道事業会計決算について、資料をもとに説明を行い、委員からの質疑・意見は次のとおりであった。</p> <p><b>【質疑】</b></p> <p>委員 一般会計の負担によって利益を出している現状をどう考えているか。</p> <p>事務局 現状は一般会計からの繰入金に依存している状態である。赤字補填である基準外繰入金を解消できるように事業を運営したいと考えている。現行の使用料で解消できるかどうか、そういった点を含めて審議会を通して検討していきたい。</p> <p>委員 福岡工業団地第2期地区内の整備に投資した経費に対する費用対効果をどのように考えるか。</p> <p>事務局 福岡工業団地第2期地区内の下水道整備は県が行っており、それが市に移管される予定である。地区内からみらい平地区の既存管に繋ぐ工事を市で実施している。</p>

	<p>費用については、国庫補助金や県負担金を活用し、財源を確保しながら整備を行っている。</p> <p>委員 今、説明していただいた財源などについて、資料に記載出来ないか。大雑把な数字でよいので、流れが把握できる資料が欲しい。</p> <p>事務局 承知した。</p> <p>委員 農集、コミプラの有収率が上がっているが、水量は減っている。要因は何か。</p> <p>事務局 雨水や地下水などが流入しないよう不明水対策を行っているため有収率が上昇している。他、天候に左右される部分もある。</p> <p>委員 数値に対する他の自治体との比較も示してもらえるとわかりやすいのではないか。</p> <p>事務局 承知した。</p> <p>委員 お金がかかるのは仕方がないが、すべてを料金に直接反映させるのはサステナブルではない。各方面から見直しをする必要があると考える。</p> <p>(2) 下水道使用料検討・経営戦略改定業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から、令和5年度から6年度にかけて、下水道経営戦略の見直し及び使用料検討業務を実施することの説明並びに本業務の実施にあたり業務委託を締結した日本会計コンサルティング株式会社の紹介があった。</li> <li>・日本会計コンサルティングより、資料をもとに業務の進め方について説明があり、委員からの質疑・意見は次のとおりであった。</li> </ul> <p>【質疑】</p> <p>委員 下水道使用料の検討をしていくにあたり、地区毎の資料、県や国の考え方の資料、類似団体の資料を提供してほしい。</p> <p>事務局 資料は審議毎に作成し提供していきたい。</p> <p>委員 接続率を上げることは経営上必要不可欠だと思うが、接続率の改善の検討はしないのか。 また、当市では3つの事業があり、統廃合の議論も必要ではないか。</p> <p>事務局 接続率の向上については、未接続者に対し、毎年チラシを配布するなど普及促進に取り組んでいる。 また、統廃合については、下水道の広域化は国でも県でも進めているところであり、当市としても将来</p>
--	--

	<p>的には議論を行っていきたいと考えている。</p> <p>委員 環境汚染、経営2つの点から接続率上昇に努めてもらいたい。</p> <p>事務局 統廃合についてもできれば期限を決めて行ってはどうか。</p> <p>委員 接続率上昇については、以前、実際農集排地区で下水道接続のPR活動を行ったが、現実的には難しいと感じた。</p> <p>委員 接続率の上昇が困難な課題であることは重々承知している。しかし、市の姿勢として、みらいに向かっていくのであれば、この使用料検討の機会が良い転換期になるのではないかと感じる。</p> <p>6 その他 ・特になし</p> <p>7 閉会 午後3時20分</p>
配 付 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度下水道事業決算について</li> <li>・令和4年度つくばみらい市下水道事業会計決算書</li> <li>・諮問書の写し</li> </ul>
そ の 他	傍聴人 なし

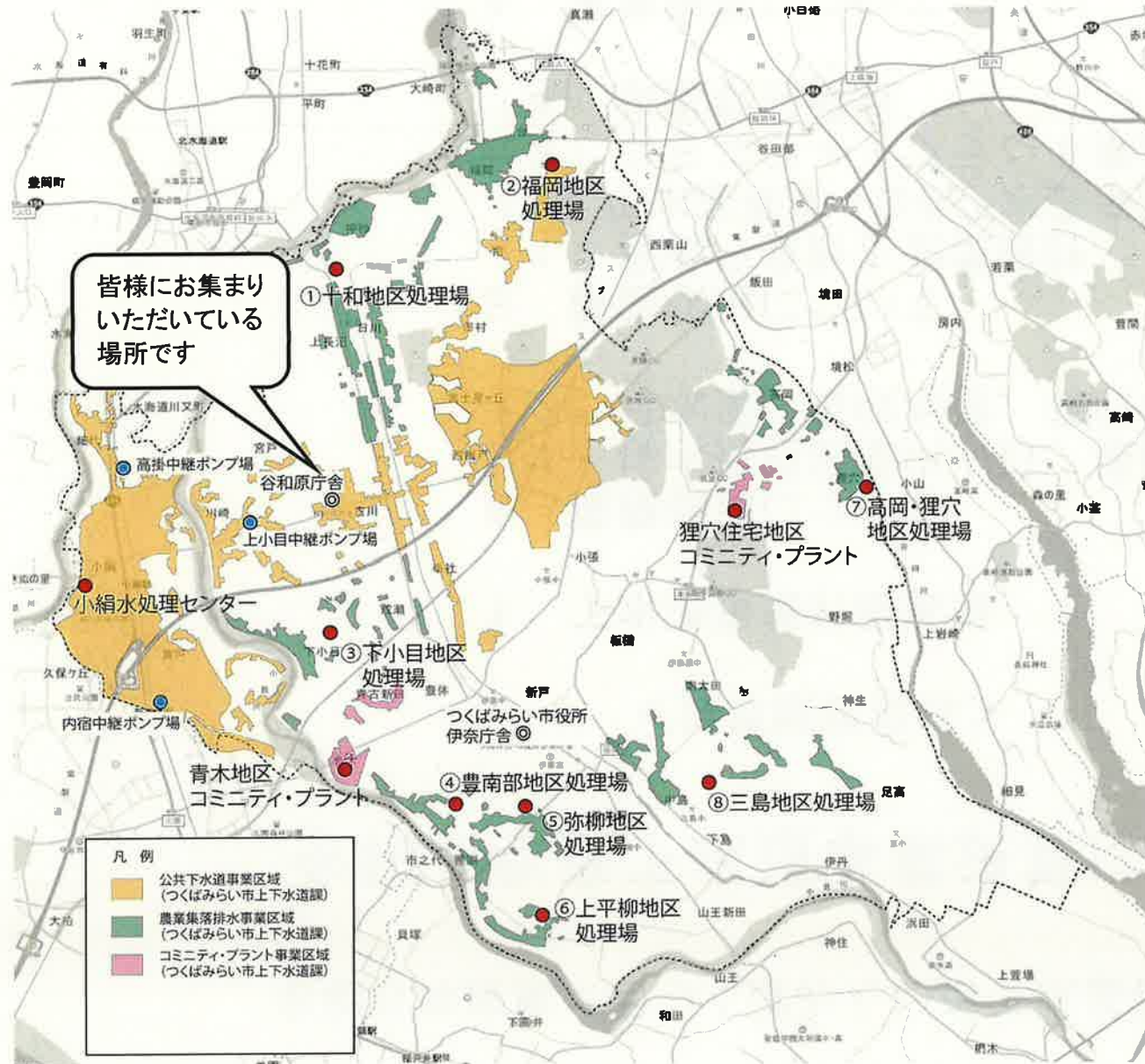
# 令和5年度第1回つくばみらい市下水道審議会資料

## 令和4年度下水道事業決算について

### <決算概要資料>

- 1 下水道事業計画区域
- 2 業務状況について
  - (1) 排水処理区域内人口、接続戸数
  - (2) 排水量、有収水量、有収率
- 3 経営状況について
  - (1) 官公庁会計と企業会計
  - (2) 下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業）
  - (3) コミュニティ・プラント事業
  - (4) 決算状況資料
- 4 事業概要について

# 1 つくばみらい市の下水道事業計画区域



## 公共下水道事業

小絹地区、みらい平地区、  
福岡南周辺

## 農業集落排水事業

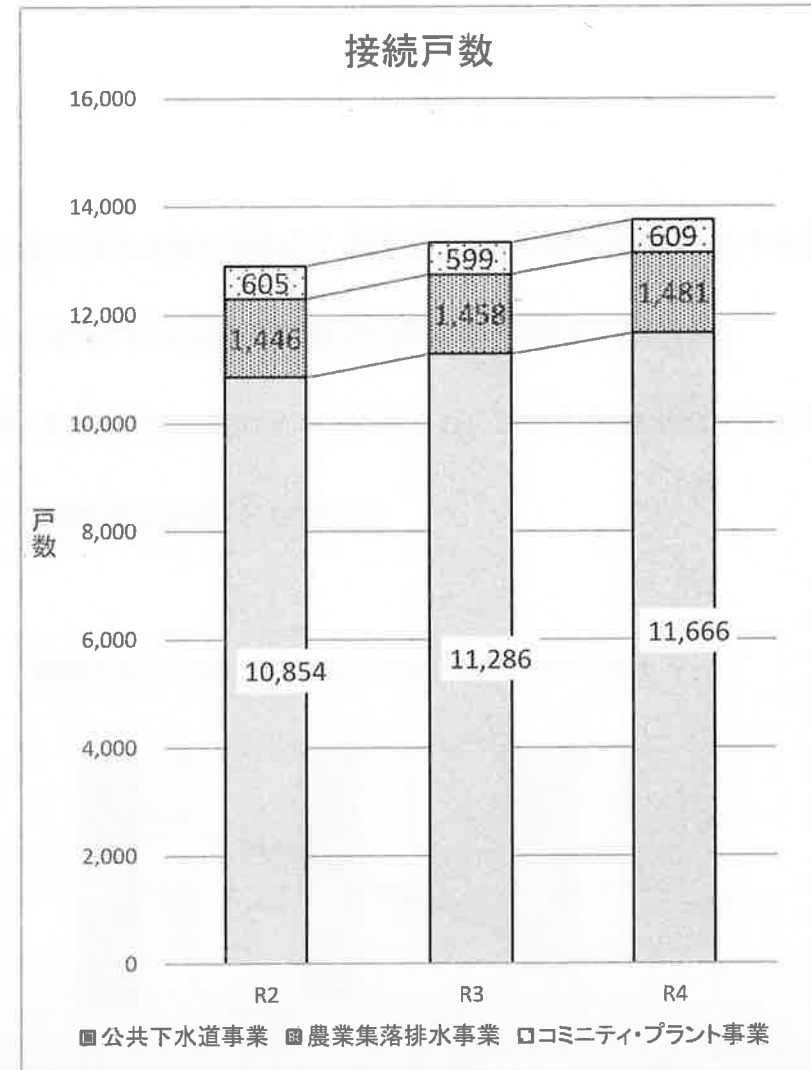
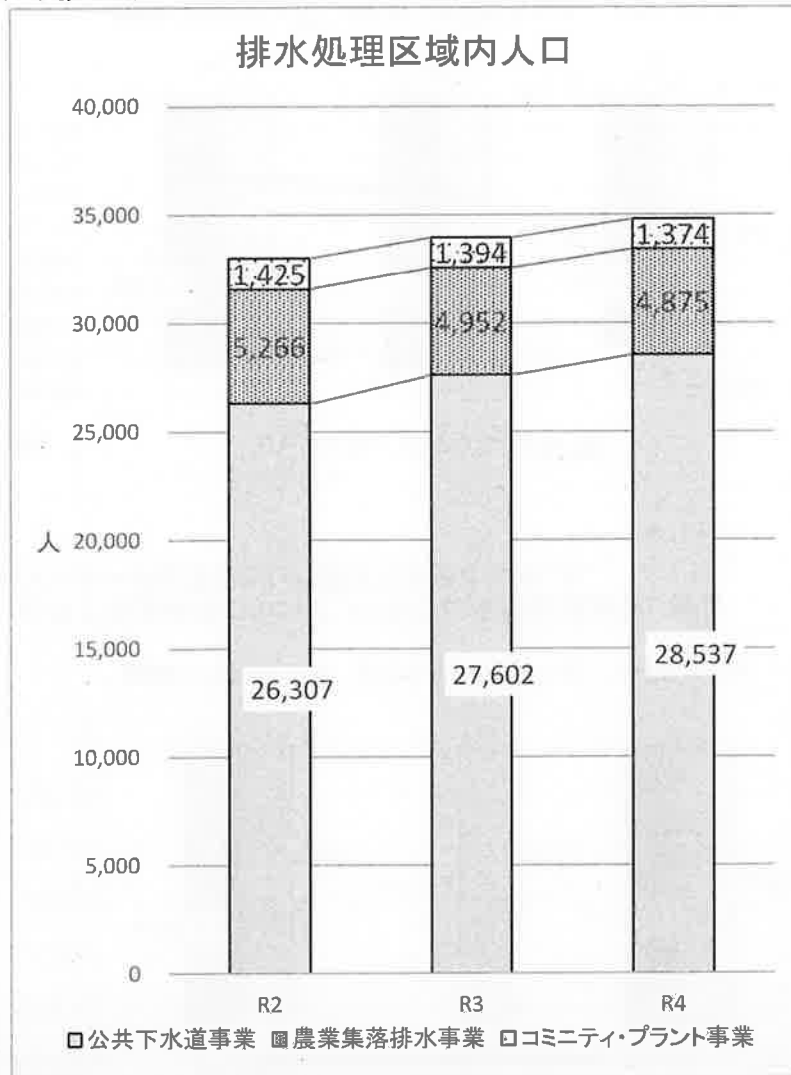
- ① 十和地区
- ② 福岡地区
- ③ 下小目地区
- ④ 豊南部地区
- ⑤ 弥柳地区
- ⑥ 三島地区
- ⑦ 高岡・狸穴地区
- ⑧ 上平柳地区

## コミュニティ・プラント事業

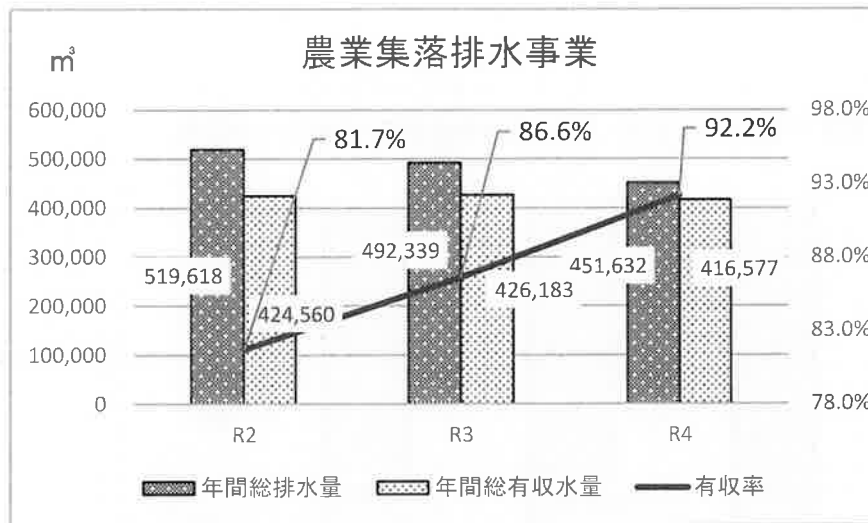
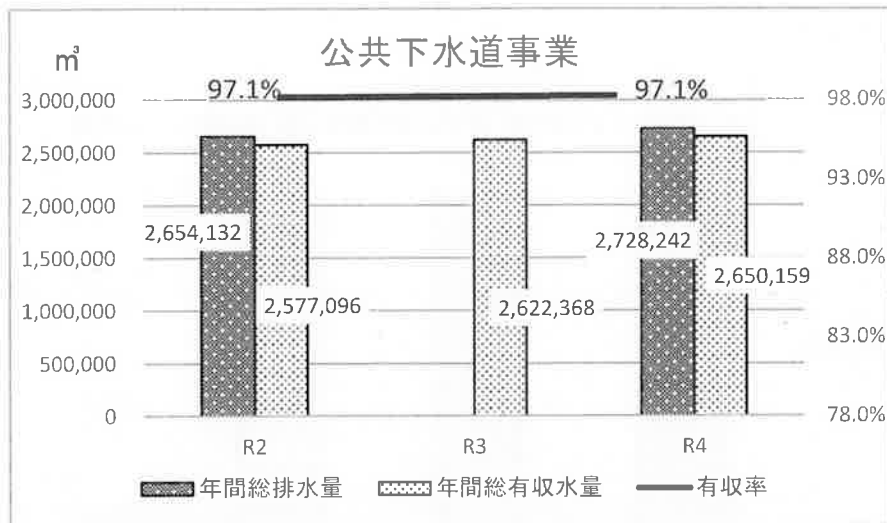
青木地区  
狸穴住宅地区

## 2 事業状況について

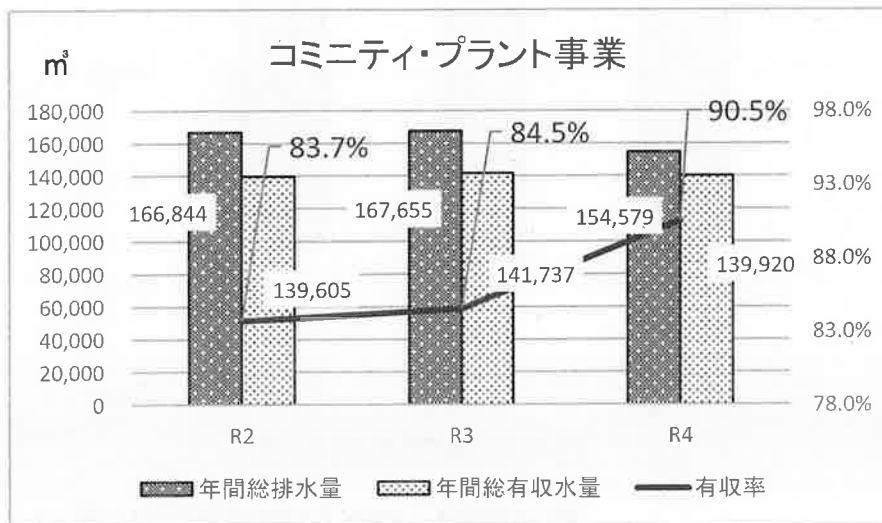
### (1) 排水処理区域内人口、接続戸数



## (2) 排水量、有収水量、有収率



※ 公共下水道事業について、R3年度の年間総排水量、有収率はメーターが故障したため測定できませんでした。



・排水量とは処理場で処理した汚水の量

・有収水量とは下水処理場で処理した汚水量のうち、下水道使用料徴収の対象となる水量

・有収率とは処理した汚水のうち、使用料徴収対象となる水量の割合

有収率が高いほど不明水が少なく、効率的な汚水処理がされていることを示します。

3 経営状況について  
 (1) 官公庁会計と企業会計

官公庁会計

歳入	歳出
料金収入等	人件費、 修繕費等
他会計繰入金等	建設改良費、 企業債元金償還等
企業債 国庫補助金等	

コミュニティ・プラント事業



公営企業会計 特有の項目
減価償却費
長期前受金戻入



公営企業会計

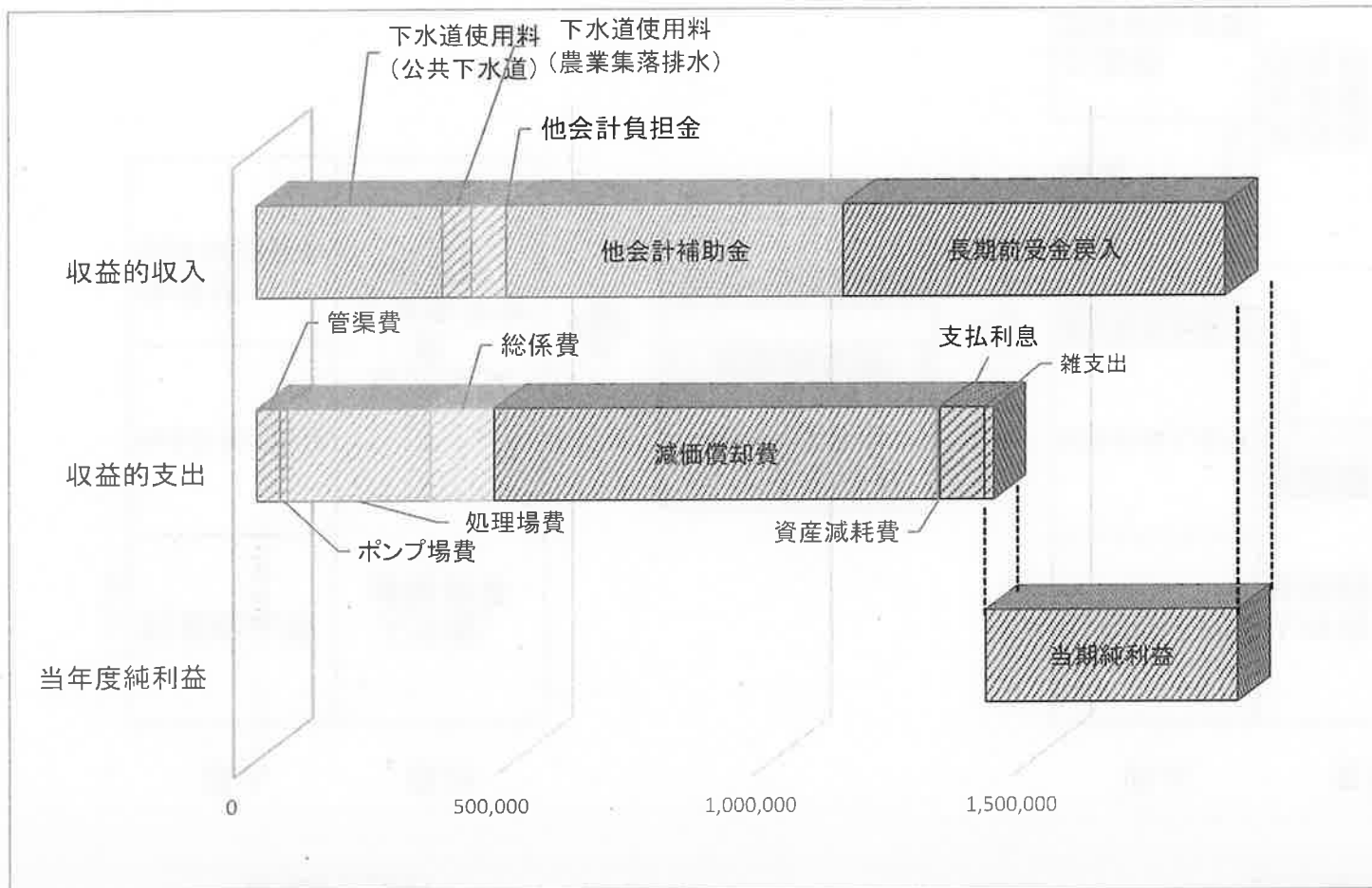
収入	支出	
料金収入等	人件費 修繕費等	収益的収支 施設の維持管理 損益取引
他会計繰入金等	減価償却費	
長期前受金戻入	}	利益
利益等で 補填		
企業債 国庫補助金等	建設改良費 企業債元金 償還等	資本的収支 施設の整備、改良

下水道事業(公共下水道事業・農業集落排水事業)



(2) 下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業）  
収益的収支

《損益計算書》  
施設の維持や管理などの収支



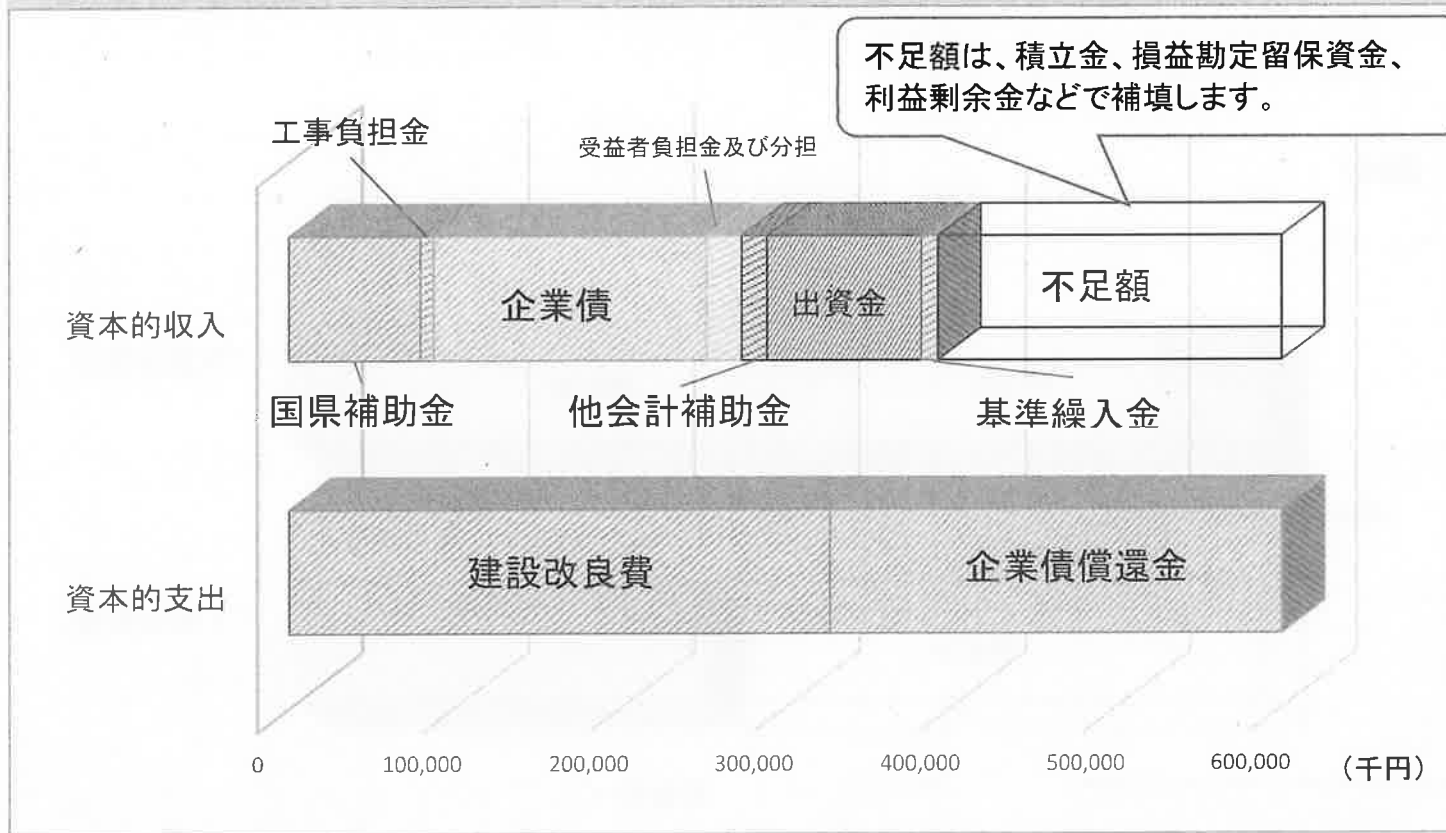
収益的収入	(税抜) (千円)
下水道使用料 (公共下水道)	358,171
下水道使用料 (農業集落排水)	55,851
他会計負担金	66,317
その他	18
受取利息	30
他会計補助金	649,028
長期前受金戻入	734,940
雑収益	1,145
過年度損益修正益	0
合計	1,865,500

収益的支出	(千円)
管渠費	44,925
ポンプ場費	14,038
処理場費	276,273
総係費	121,836
減価償却費	853,272
資産減耗費	4,308
支払利息	84,776
雑支出	18,254
その他の特別損失	0
合計	1,417,682
当年度純利益	447,818

収益的収入 - 収益的支出 = 447,818 (当年度純利益)

# 資本的収支

## 施設の整備・改良をするための収支



資本的収入 (税込)	
(千円)	
国県補助金	79,844
工事負担金	7,980
企業債	164,700
受益者負担金及び分担金	21,361
他会計補助金	15,484
出資金	92,694
基準繰入金	10,000
合計	392,063

資本的支出	
(千円)	
建設改良費	327,384
企業債償還金	451,783
投資	188
合計	779,355

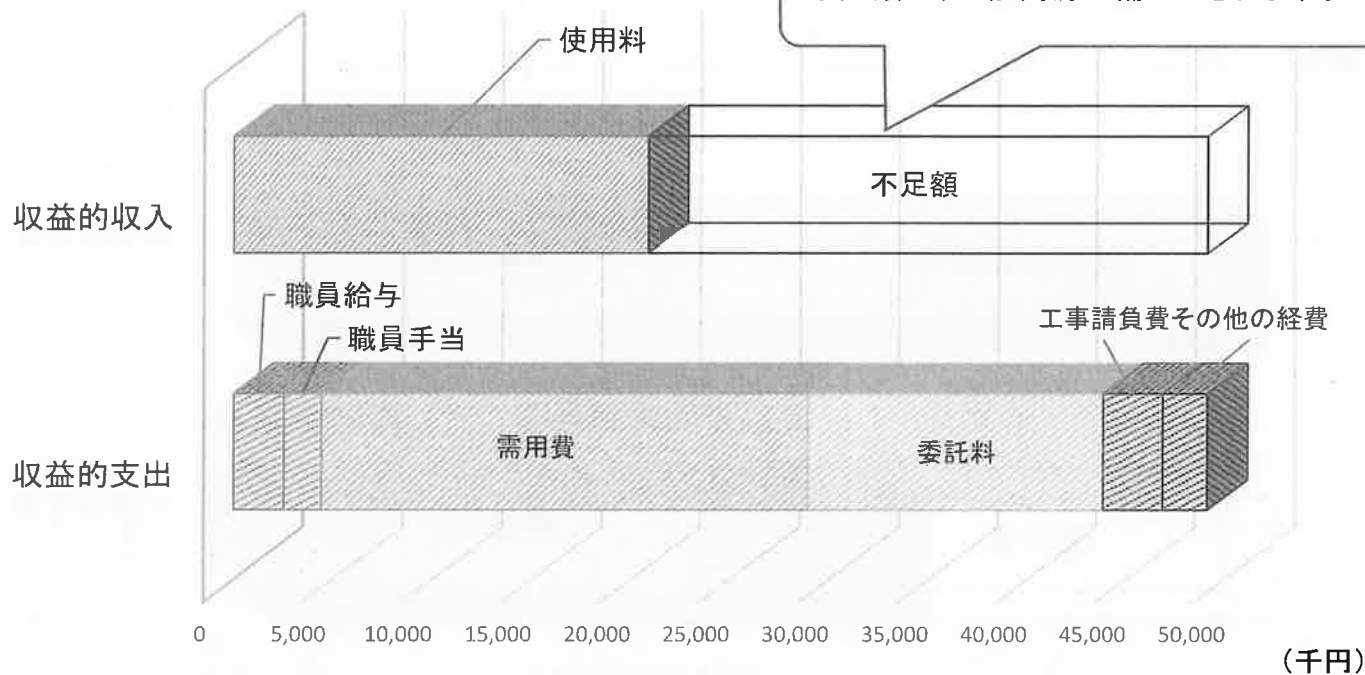
不足額	
(千円)	
不足額	▲ 387,292
【補填財源】	
(千円)	
繰越工事資金	0
消費税等資本的収支調整額	18,734
損益勘定留保資金	122,640
減債積立金	190,112
建設改良積立金	6,809
当年度利益剰余金	48,997
合計	387,292

**資本的収入 - 資本的支出 = ▲ 387,292 千円 (不足額)**

(3) コミュニティ・プラント事業  
収益的収支

施設の維持や管理などの収支

不足額は、一般財源で補てんされます。



収益的収入 (税込) (千円)	
使用料	20,877
合計	20,877

収益的支出 (千円)	
職員給与	2,572
職員手当	1,892
需用費	24,485
委託料	14,948
工事請負費	3,002
その他の経費	2,252
合計	49,151

(千円)	
不足額	▲ 28,274

**収益的収入 - 収益的支出 = ▲ 28,274 千円 (不足額)**

(4) 令和4年度決算状況資料

下水道事業

税抜

収益的収支

単位:千円

		令和4年度	令和3年度	増減	説明	
収 益 的 収 入	1. 営業収益 (A)	480,357	479,349	1,008		
	(1) 料金収入	414,022	411,380	2,642	公共 358,171、農集 55,851	
	(2) 受託工事収益 (B)					
	(3) その他	66,335	67,969	△ 1,634		
	2. 営業外収益	1,385,143	1,400,199	△ 15,056		
	(1) 補助金	649,028	633,307	15,721		
	他会計補助金	649,028	633,307	15,721	市一般会計より	
	その他補助金					
	(2) 長期前受金戻入	734,940	764,377	△ 29,437		
	(3) その他	1,175	2,515	△ 1,340		
	収入計 (C)	1,865,500	1,879,548	△ 14,048		
	収 益 的 支 出	1. 営業費用	1,314,651	1,288,302	26,349	
		(1) 職員給与費	52,231	52,353	△ 122	
基本給		33,012	32,650	362		
退職給付費						
その他		19,219	19,703	△ 484	職員手当等	
(2) 経費		404,840	352,921	51,919		
委託料		213,337	167,594	45,743	施設管理に係る委託料等	
動力費		97,478	66,109	31,369	施設電気料	
修繕費		27,326	35,954	△ 8,628		
材料費		639	414	225		
その他		66,060	82,850	△ 16,790	薬品費、負担金等	
(3) 減価償却費		853,272	878,325	△ 25,053		
(4) 資産減耗費		4,308	4,703	△ 395		
2. 営業外費用	103,031	110,350	△ 7,319			
(1) 支払利息	84,776	94,404	△ 9,628	企業債償還利子		
(2) その他	18,255	15,946	2,309	消費税等		
支出計 (D)	1,417,682	1,398,652	19,030			
経常損益 (C)-(D) (E)	447,818	480,896	△ 33,078			
特別利益 (F)	0	8,493	△ 8,493			
特別損失 (G)	0	3,237	△ 3,237			
特別損益 (F)-(G) (H)	0	5,256	△ 5,256			
当年度純利益 (又は純損失) (E)+(H)	447,818	486,152	△ 38,334			

下水道事業  
資本的収支

税込  
単位:千円

		令和4年度	令和3年度	増減	説明
資本的 収入	1. 企業債	164,700	137,600	27,100	下水道事業債
	うち資本費平準化債				
	2. 他会計補助金				
	3. 他会計負担金	15,484	0	15,484	
	4. 他会計借入金				
	5. 出資金	92,694	0	92,694	
	6. 国(都道府県)補助金	79,844	80,197	△ 353	
	7. 固定資産売却代金				
	8. 工事負担金	29,341	19,950	9,391	工事負担金、受益者負担金
	9. その他	10,000	10,039	△ 39	基金繰入金等
	計 (A)	392,063	247,786	144,277	
	(A)のうち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (B)				
	純計 (A)-(B) (C)	392,063	247,786	144,277	
	資本的 支出	1. 建設改良費	327,384	268,318	59,066
うち職員給与費					
2. 企業債償還金		451,783	457,179	△ 5,396	
3. 他会計長期借入返還金					
4. 他会計への支出金					
5. その他		188	10,024	△ 9,836	
計 (D)	779,355	735,521	43,834		
資本的収入額が資本的支出額に 不足する額 (E)	387,292	487,735	△ 100,443		
補填 財源	1. 損益勘定留保資金	122,640	118,688	3,952	
	2. 利益剰余金処分量	48,997	180,692	△ 131,695	
	3. 繰越工事資金				
	4. その他	215,655	188,355	27,300	
	計 (F)	387,292	487,735	△ 100,443	

コミュニティ・プラント事業(一般会計)

税込

歳入

単位:千円

款	項	目	R4	R3	増減	説明
12 分担金及び負担金	1 分担金	1 衛生費分担金	0	1,000	△ 1,000	受益者分担金
13 使用料及び手数料	1 使用料	3 衛生使用料	20,877	21,150	△ 273	現年(20,568千円), 過年(309千円)
20 諸収入	5 雑入	3 弁償金				
合 計			20,877	22,150	△ 1,273	

歳出

款	項	目・節	R4	R3	増減	説明
4 衛生費	1 保健衛生費	8 環境災害対策費				
		12 役務費				
	2 清掃費	3 生活排水対策費				
		2 給料	2,572	2,346	226	
		3 職員手当等	1,892	1,177	715	
		4 共済費	755	610	145	
		10 需用費	24,485	21,242	3,243	光熱水費、修繕料等
		11 役務費	122	122	0	通信運搬費、保険料等
		12 委託料	14,948	15,410	△ 462	施設維持管理委託料
		13 使用料及び賃借料	1	5	△ 4	土地借上料
		14 工事請負費	3,002	3,254	△ 252	マンホール段差補修・公樹交換工事
		15 原材料費	86	94	△ 8	補修合材等
		17 備品購入費				
		18 負担金、補助及び交付金	1,288	1,353	△ 65	使用料収納事務負担金
22 償還金、利子及び割引料	0	1	△ 1			
合 計			49,151	45,614	3,537	
歳入歳出差引			△ 28,274	△ 23,464	△ 4,810	



## 4. 事業概要

1. つくばみらい市下水道の整備及び普及状況について（資料1）・・・P.12
2. 下水道事業の概要について（資料2）・・・・・・・・・・・・・・P.13~P.26



## つくばみらい市

### 下水道の整備

伊奈地区 = 取手地方広域下水道組合 = 城根処理区

谷和原地区 = つくばみらい市 = 小絹処理区

(新戸、市野深、小張地区の一部を含む。)

※取手地方広域下水道組合【構成市；つくばみらい市、取手市】

### 下水道の整備状況（令和4年度末時点）

処理区名	小絹処理区	城根処理区
事業計画面積	778.3ha	148.2ha
整備面積	609.1ha	131.6ha
整備率	78.3%	88.8%

つくばみらい市全体の整備面積	740.7ha
つくばみらい市全体の整備率	79.9%

### 下水道の普及状況（令和4年度末時点）

つくばみらい市全体の行政人口	53,162人
つくばみらい市全体の処理人口	39,714人
つくばみらい市全体の接続人口	37,717人

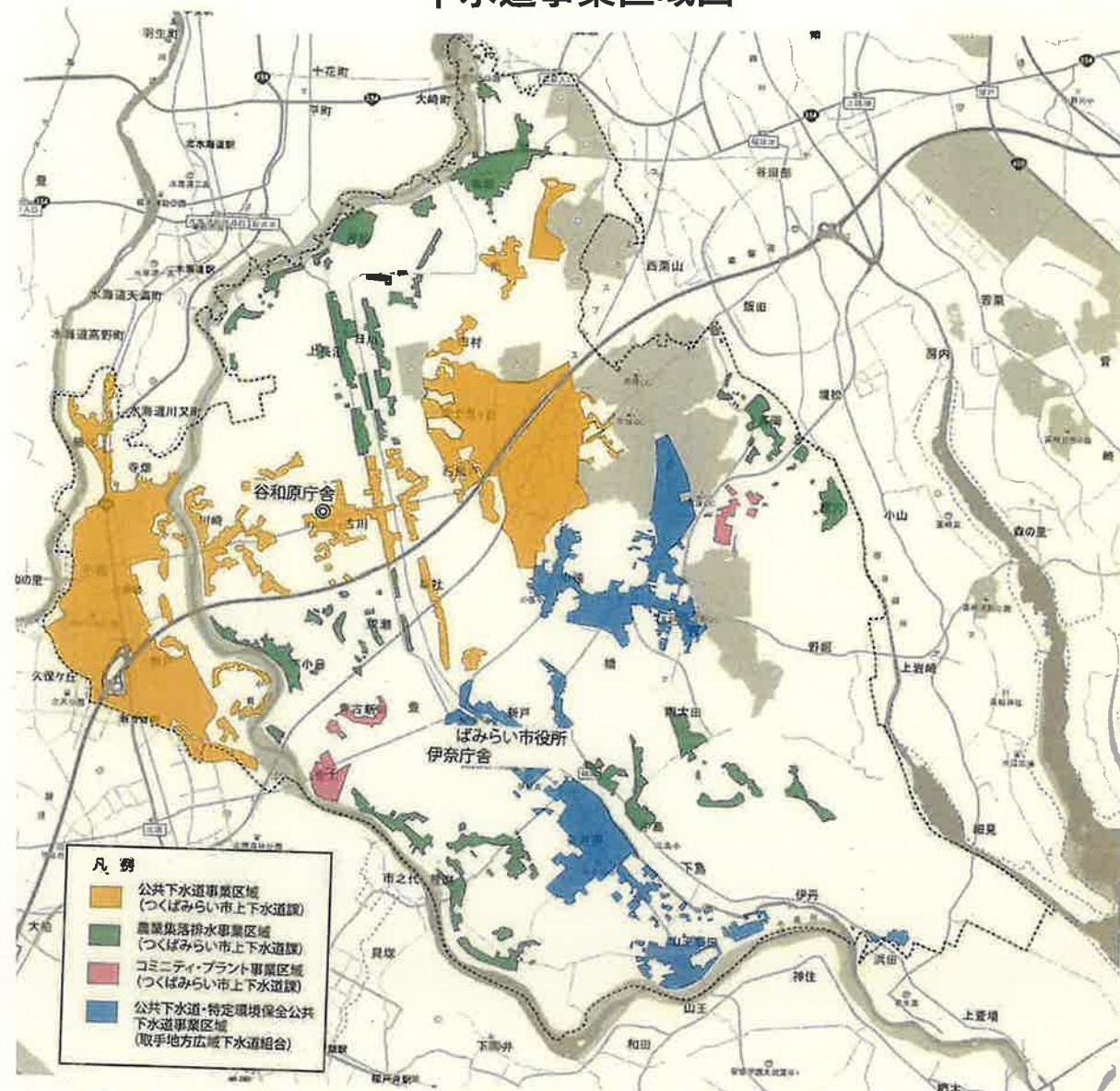
処理区名	小絹処理区	城根処理区
行政人口	34,326人	18,836人
処理人口	28,537人	11,177人
接続人口	28,150人	9,567人
下水道普及率	83.1%	59.3%
下水道接続率	98.6%	85.6%

つくばみらい市全体の普及率	74.7%
つくばみらい市全体の接続率	95.0%

※1 下水道普及率 = 処理人口 / 行政人口

※2 下水道接続率 = 接続人口 / 処理人口

## 下水道事業区域図



下水道事業

【収益的支出】

営業費用（税抜額）

◎管渠費（管渠清掃業務）

事業の概要（別図1参照）

管渠内の汚泥を高压洗浄車の高压水により、管渠及びマンホールを洗浄し、汚泥を強力吸引車で吸い上げを行い処分しました。

効果

管渠清掃を定期的に行うことで、家庭から排出される汚水を閉塞させない。

令和4年度実施箇所

委託料

公共	1.管渠清掃(陽光台・絹の台)	L=678.08m
	2.マンホールポンプ清掃	N=38箇所
	3.緊急清掃(小絹地区)	
農集	1.マンホールポンプ清掃	N=27箇所
	2.緊急清掃(三島、弥柳)	

内容及び事業費

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比
委託料	8,078,000円	7,891,000円	187,000円

《清掃作業状況》



《完了》



【管渠清掃(陽光台・絹の台)】

下水道事業

【資本的支出】

建設改良費（税込額）

◎管渠費（公共下水道整備事業）新築事業

事業の概要（別図2参照）

下水道が未整備地区において、下水道管の布設工事を行いました。

効果

汚水を適切に排出することで、地域の生活環境の改善や環境保全ができるようになります。

令和4年度実施箇所

工事請負費

1.汚水管布設工事(南)	L=519.5m	57,615,030円
2.汚水管布設工事(新戸)	L=428.0m	54,340,000円
3.汚水管布設工事(加藤)	L=23.0m	3,740,000円
4.石綿管撤去工事(南)	L=110.0m	294,800円

委託料

1.鬼長地区管渠実施設計業務	1式	17,490,000円
2.生活排水ベストプラン見直し業務	1式	4,840,000円
3.奉社・新戸地区管渠実施設計見直し業務	1式	2,486,000円
4.マンホール設備価格調査業務	1式	324,720円
5.南地区家屋調査等業務	1式	1,958,000円

内容及び事業費

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比
工事請負費	115,989,830円	134,909,500円	△18,919,670円
委託料	24,816,000円	38,437,300円	△13,631,300円

《施工状況》



【汚水管布設工事(南)】



下水道事業

【資本的支出】

建設改良費（税込額）

◎管渠費（農業集落排水事業）改築事業

事業の概要（別図3 農業集落排水事業区域図参照）

老朽化したポンプ施設について、機械・電気設備の更新工事を行いました。

効果

計画的に施設の更新工事を行うことで、安定したポンプ施設の運転ができるようになり、汚水を適切に排出することができます。

令和4年度実施箇所

工事請負費

1.十和地区 MP14 号フロートスイッチ交換	97,900 円
2.高岡狸穴地区 MP10 号 No.1 ポンプ交換	616,000 円
3.下小目地区 MP2 号フロートスイッチ交換	99,000 円
4.福岡地区 MP13 号通報装置交換	299,200 円
5.十和地区 MP21 号 No.2 ポンプ交換	462,000 円
6.下小目地区真空弁ユニット交換	1,892,000 円
7.下小目地区真空弁通報装置回線交換	616,000 円

内容及び事業費

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比
工事請負費	4,082,100 円	4,338,400 円	△256,300 円

《施工中》



《完成》



【下小目地区真空弁ユニット交換】

下水道事業

【資本的支出】

建設改良費（税込額）

◎処理場建設費（公共下水道改修事業）新築事業

事業の概要（別図3 小絹水処理センター配置図参照）

みらい平地区の人口増加や福岡工業団地第2期地区造成に伴う汚水量の増加に対応するため、処理場施設の一部増設工事を行いました。

効果

処理施設の増設工事を行い機能強化することにより、増加する汚水を適切に処理し、排水することができます。

令和4年度実施箇所

工事請負費

1.小絹水処理センター No.2 濃縮汚泥掻き寄せ機設置工事	34,973,400 円
2.小絹水処理センター流入計設置工事	4,070,000 円

内容及び事業費

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比
工事請負費	39,043,400 円	0 円	39,043,400 円
委託料	0 円	0 円	0 円

《設置前》



《設置後》



【小絹水処理センター No.2 濃縮汚泥掻き寄せ機設置工事】

## 下 水 道 事 業

## 【資本的支出】

建設改良費（税込額）

## ◎処理場建設費（公共下水道改修事業）改築事業

事業の概要（別図 3 小絹水処理センター配置図参照）

老朽化した処理場施設について、機械・電気設備の更新工事を行いました。

効果

計画的に施設の更新工事を行うことで、汚水を浄化処理し、放流する河川の水質保全ができるようになります

令和 4 年度実施箇所

## 工事請負費

1.小絹水処理センター散水用給水ユニット交換工事	4,015,000 円
2.小絹水処理センターろ過水量積算計他交換工事	1,650,000 円
3.小絹水処理センター建設工事に関する協定 (汚泥濃縮施設・中央監視制御設備)	21,300,000 円

内容及び事業費

項目	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比
工事請負費	26,965,000 円	11,660,000 円	15,305,000 円
委託料	0 円	42,380,000 円	0 円

## 下 水 道 事 業

## 【資本的支出】

建設改良費（税込額）

## ◎処理場費（農業集落排水改修事業）改築事業

事業の概要（別図 2 農業集落排水事業区域図参照）

老朽化した処理場施設について、機械・電気設備の更新工事を行いました。

効果

計画的に施設の更新工事を行うことで、汚水を浄化処理し、放流する水路の水質保全ができるようになります。

令和 4 年度実施箇所

## 工事請負費

1.下小目処理場ばっ気攪拌装置交換工事	5,500,000 円
2.三島処理場 No. 1 回分槽水中攪拌装置交換工事	1,199,000 円
3.上平柳処理場 No. 2 自動細目スクリーン交換工事	836,000 円
4.弥柳処理場流量調整ポンプ等交換工事	913,000 円
5.十和処理場前処理室ファン交換工事	1,683,000 円
6.下小目処理場フェンス改築工事	875,600 円
7.下小目処理場圧送ポンプ用インバーター交換工事	99,000 円
8.下小目処理場脱臭バナー等交換工事	232,000 円

委託料

1.三島処理場機能診断調査及び最適化構想策定業務	10,868,000 円
--------------------------	--------------

内容及び事業費

項目	令和 4 年度	令和 3 年度	前年度比
工事請負費	11,337,700 円	9,573,300 円	1,764,400 円
委託料	10,868,000 円	7,513,000 円	3,355,000 円

《更新前》



《更新後》



【下小目処理場ばっ気攪拌装置交換工事】

## 下 水 道 事 業

## 【資本的支出】

建設改良費（税込額）

◎福岡工業団地第2期地区関連事業（汚水）新築事業

事業の概要（別図1 参照）

福岡工業団地第2期地区の汚水管布設工事に係る実施設計を行いました。

効果

福岡工業団地第2期地区の造成に伴い、令和8年度から操業される工場からの汚水を排出します。

令和4年度実施箇所

委託料

1.福岡南幹線（汚水）実施設計業務 18,678,000 円

内容及び事業費

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比
工事請負費	0 円	0 円	0 円
委託料	18,678,000 円	0 円	18,678,000 円

スケジュール

令和5年度～令和6年度 福岡南地区第2幹線管渠布設工事

令和7年4月 供用開始予定

## 下 水 道 事 業

## 【資本的支出】

建設改良費（税込額）

◎福岡工業団地第2期地区関連事業（雨水）新築事業

事業の概要（別図1 参照）

福岡工業団地第2期地区の雨水事業に関する計画変更を行いました。

効果

福岡工業団地第2期地区の雨水調整池造成に伴い、雨水を排出するため、排水路の整備を行うものです。

令和4年度実施箇所

委託料

1.公共下水道事業計画変更業務 8,800,000 円

内容及び事業費

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比
工事請負費	0 円	0 円	0 円
委託料	8,800,000 円	0 円	8,800,000 円

スケジュール

令和5年度 雨水排水路設置工事詳細設計

令和5年度～令和6年度 雨水排水路設置工事

コミュニティ・プラント事業

◎公共汚水樹交換工事

事業の概要 (コミュニティ・プラント事業区域図参照)

青木地区コミュニティ・プラント処理区では、雨水等の不明水の流入が多く、大雨時には処理場の処理能力を超える状況にあるため、破損したコンクリート樹から塩化ビニール樹へ交換する工事を実施しました。

効果

公共汚水樹の交換工事を行うことによって、雨水等の侵入を防止しました。

令和4年度実施箇所

青木地区	
1.公共汚水樹交換工事	2,508,000 円
平成30年度から令和2年度まで	不明水の調査 (59ヶ所が交換が急務)
平成30年度から令和2年度まで	34ヶ所 完了
令和4年度	13ヶ所 完了
(実施; 令和5年度 11ヶ所)	

内容及び事業費

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比
委託料	2,508,000 円	2,750,000 円	△242,000 円

《交換前》



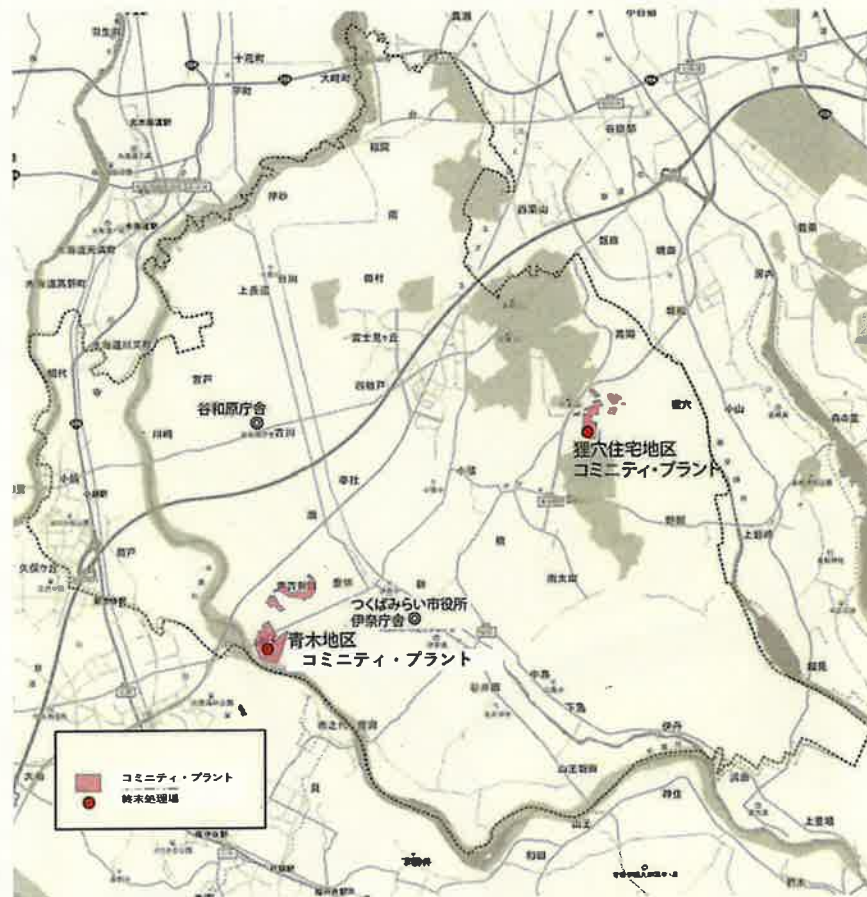
《交換後》



《ズレが生じた状況》



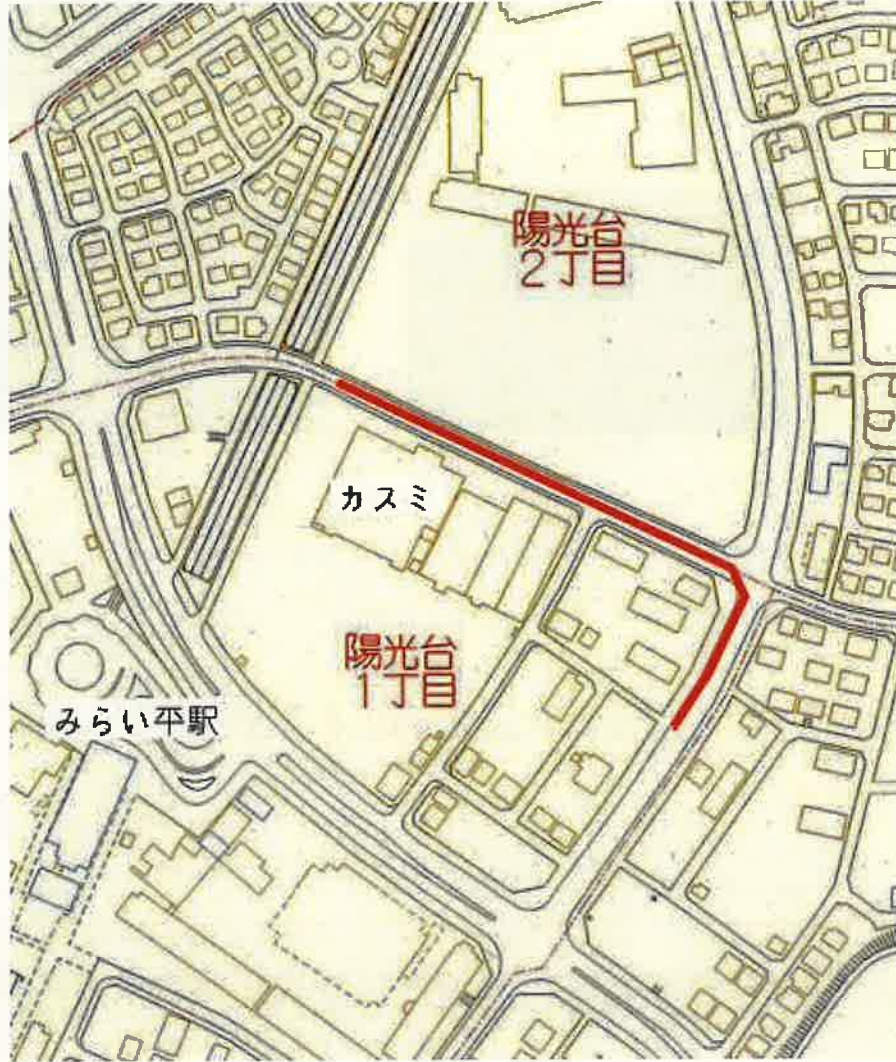
コミュニティ・プラント事業区域





### 管渠清掃位置図

陽光台

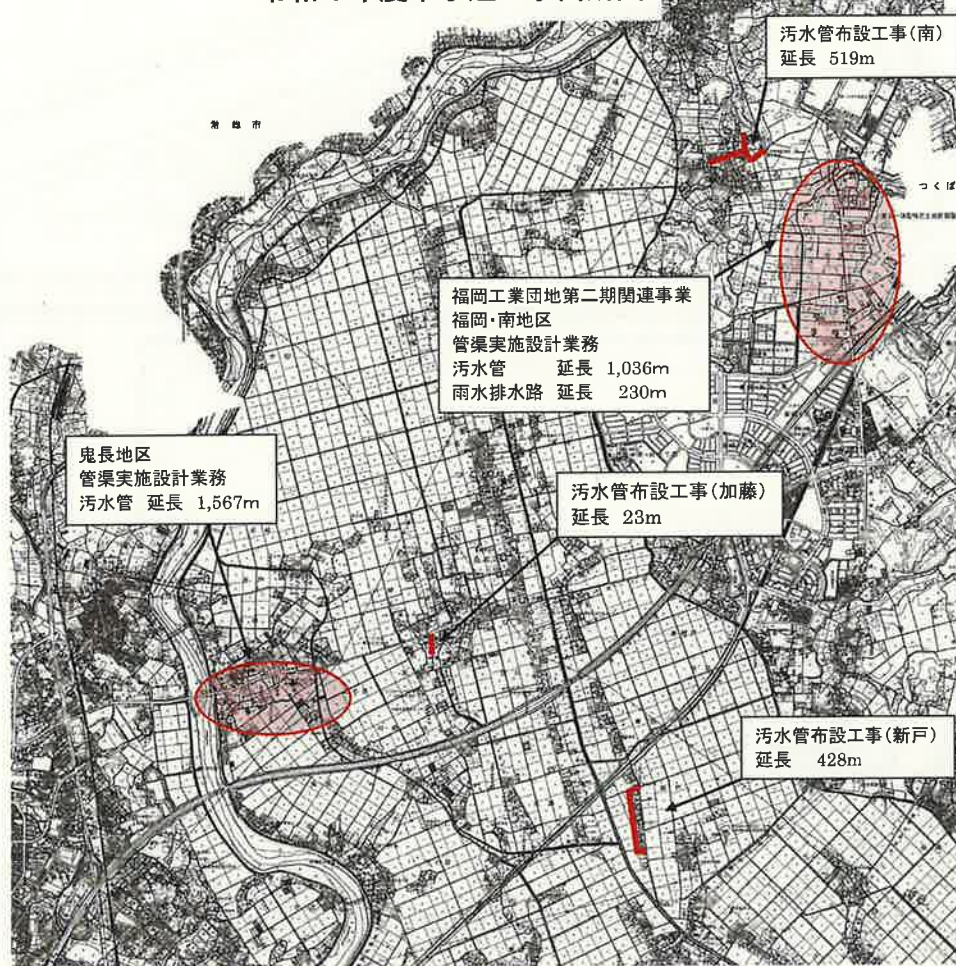


絹の台

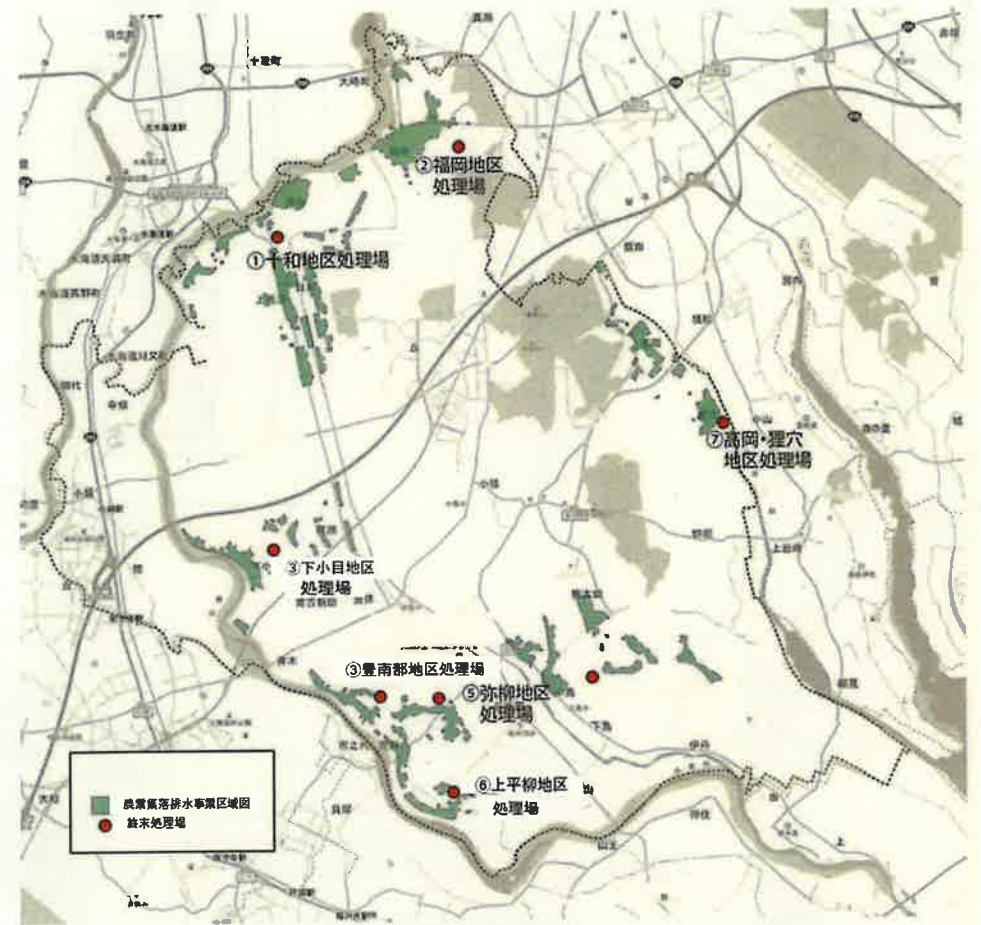




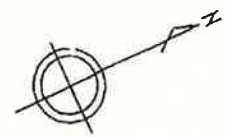
### 令和4年度下水道工事箇所図



### 農業集落排水事業区域図

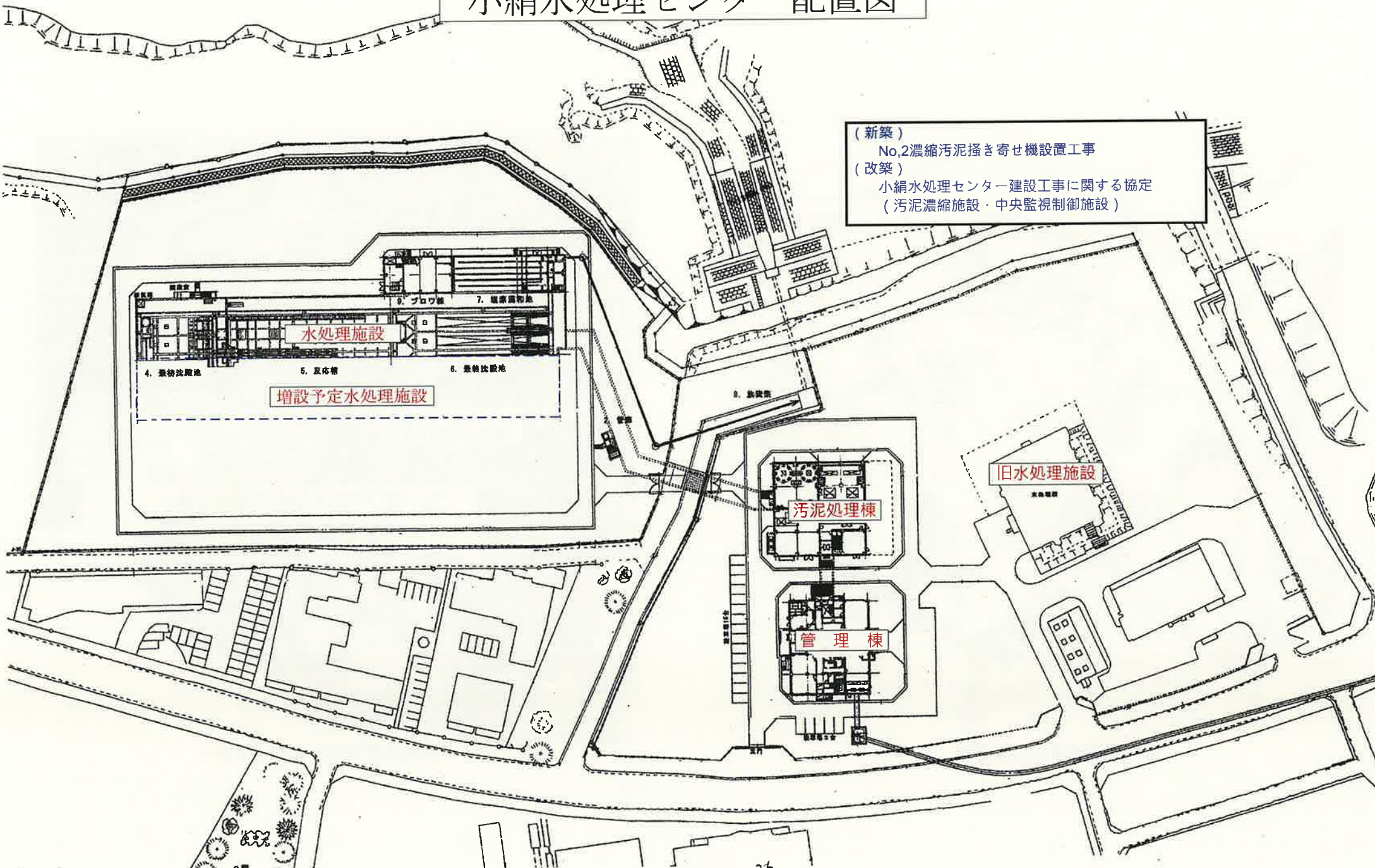






鬼怒川

# 小絹水処理センター配置図



(新築)  
No.2濃縮汚泥掻き寄せ機設置工事  
(改築)  
小絹水処理センター建設工事に関する協定  
(汚泥濃縮施設・中央監視制御施設)

みらい上下第 387号

令和 5年12月 6日

つくばみらい市下水道審議会  
会長 大澤 義明 様

つくばみらい市下水道事業  
つくばみらい市長 小田川 浩



## 諮 問 書

つくばみらい市下水道審議会条例第2条第1項の規定により基づき、貴審議会に諮問いたします。

### 記

#### 1 諮問事項

下水道使用料検討について

#### 2 諮問の趣旨

本市の下水道使用料は、平成20年度に公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント事業の使用料を統一するための改定を行いました。その後、平成26年及び令和元年に消費税改正に伴う使用料改定を行い、現在経営をしております。

令和3年度には今後10年間の財政計画である「下水道事業経営戦略」を策定し、持続可能な下水道事業の目指すべき方向性を示しております。

また、同経営戦略では、本来、下水道使用料で賄うべき費用を回収できていないという点を運用上の課題としており、そのために必要な経費回収率の向上に向けたロードマップとして、5年に1度、下水道使用料の検討の必要性を挙げております。

今後においても、下水道施設の老朽化に伴う修繕などの維持管理費の増加や、節水機器の普及による水需要の減少、将来における人口減少などによる下水道使用料の減収が見込まれており、地方公営企業の独立採算制の観点からも早期の経営改善が求められております。

つきましては、継続的で安定した下水道サービスの提供と、経営の健全化を図るため、下水道使用料の検討について諮問いたします。